

風にのって、羽ばたく。

[2024年・新春]



医療法人 仁木会
広報誌 Vol.35

Take Free.
ご自由にお持ちください

心に安らぎのそよ風を。

<https://www.niki-hp.or.jp>



そよ風のてがみ

[特集]

SDGsへの取り組み

2024年巻頭言

相談支援事業所アウル開設5年目を迎えて

新入職員紹介

できごと

かんたんレシピ

[ライスペーパーれんこん餃子]



● 外来診療のご案内

- ・ 受付時間／8:30～11:30、13:00～16:30
※初めての方は待ち時間解消のため、お電話でご予約ください。
- ・ 診療時間／9:00～12:00、13:00～17:00
※ストレスケア外来・ストレスカウンセリングは、ご予約の上ご来院ください。
- ・ 休 診 日／土・日・祝日
※再来急患の場合は、その限りではありません。

● 診療費のお取扱いについて

[窓口でのお取扱い時間]

- ・ 平日／ 9:00～17:00
※土・日・祝日のお取扱いはありません。

● 保険証の確認について

- ・ 外来／診察毎時 ・ 入院／月1回
※窓口での提示をお願いします。

[口座振替]

ご指定の口座より自動振替による、入院費・日用品代のお支払いができるサービスを行っております。定期的に来院するのが大変な方、遠方からお越しの方等、大変便利なサービスとなっておりますので、ぜひご利用ください。

[クレジット]

入院費・外来診療料・カウンセリング料のお支払いが可能です。一括払いのみとなります。分割払い・リボ払いはお取扱いしておりません。



医療法人 仁木会は
ロアッソ熊本を
応援しています。



再来予約専用

TEL.090-1779-5326
TEL.096-383-7810

電話予約受付時間
(平日のみ)
8:30～12:00
13:00～17:00

● お問い合わせについて

初めての方…………… TEL.096-384-3111
一般外来…………… TEL.096-383-7810
(診察予約・変更・キャンセル) TEL.090-1779-5326
ストレスケア外来・カウンセリング…… TEL.096-383-4679
(診察予約・変更・キャンセル)
デイケアに関すること…………… TEL.096-384-3151

＜医療機関・地域包括支援センター・介護施設のご担当者様へ＞
各種お問合せは地域連携室で対応させていただきます。

基本理念

医療法人仁木会は、
患者様の心を癒し、社会で安心して生活が出来るように手助けをします。
患者様、ご家族、地域の方々に寄り添った、
家庭的で心の通った医療とサービスを提供します。



医療法人 仁木会
ニキ ハーディーホスピタル
[精神科・神経科・神経内科]
〒862-0920
熊本市東区月出4丁目6-100
TEL.096-384-3111



医療法人 仁木会
訪問看護ステーション クレイン
〒862-0920
熊本市東区月出4丁目4番74号
TEL.096-234-7738
FAX.096-234-7746



医療法人 仁木会
相談支援事業所 アウル
〒862-0920
熊本市東区月出4丁目4番74号
TEL.096-234-7756
FAX.096-234-7746



医療法人 仁木会
訪問看護ステーション コリブリ
〒860-0834
熊本市南区江越1-10-18-102
TEL.096-234-7580



医療法人 仁木会
相談支援事業所 アウルサテライト
〒860-0834
熊本市南区江越1-10-18-102
TEL.096-234-7585





相談支援事業所

アウル

開設5年目を迎えて

法人本部長／片山淳一

相談支援事業所アウルが開業して5年目を迎えました。開設まもなくよりコロナ禍に見舞われ、度重なる行動制限の発出によって、その都度業務内容の変更を余儀なくされていました。ようやく5類移行となり、感染対策の徹底は継続しつつ、本来の相談支援体制で業務にあた

ることができるようになりました。一方でご利用者様それぞれの新たな課題とニーズに直面しており、今後にむけて一層サービス提供の幅を広げる必要性を痛感しているところです。開設から今日までを振り返り、今後の展望についてお示しいたします。

これまでの振り返り

昨年度より常勤・非常勤合わせて相談支援専門員計9名配置し、これまで約700名の相談支援を担当させていただいています。

1. 計画相談

開設以来当院患者様の生活支援のケアマネジメントの提供が中心でしたが、徐々に他の医療機関等からのご紹介が増えています、利用者のニーズとして特に居宅介護・就労継続支援のサービス利用をご希望される方が多い状況です。

2. 障害児相談

障害児相談についてはこれまでと同様にご希望の方が多く、全体の約8割を占めています。昨年は以下について重点的に取り組みました。

1. 放課後等デイサービスの利用

児童発達支援を中心としたサービス利用中の方のうち、本年4月に就学される方が60名以上に及びます。ほとんどの方が放課後等デイサービスの利用を希望されており、安心して就学を迎えるためにも、それぞれにご意向をおうかがいして、利用につながるよう早期的支援に取り組んでいます。

2. 医療的ケア児支援

昨年は退院カンファレンス等に参加させていただく機会が増え、在宅移行の早期支援に関わることができました。また、熊本県医療的ケア児等コーディネーター養成研修およびフォローアップ研修の企画・運営に関わらせていただき、多くの支援者の方々と交流の機会を得ることができました。

3. 交流会の開催

試験的な取り組みとして、「ダウン症児の交流会」を企画開催し、計8組の方に参加いただきました。短い時間ではありましたが、親子で一緒に遊び、親御さん同士の交流や今後の就園や就学、発達支援等について語らいの場をもうけました。



3. 地域移行支援

昨年1件実施いたしました。さまざまな事情が重なってしまい、当初目標より少なかったのですが、主治医や関係職種とチームを構成し、ニキハーティーホスピタル・当事業所で新たなフレームワークを構築して計画的な地域移行に取り組めたことは大きな成果でした。これには東区福祉課のご配慮によって認定および支給決定がかなり早く進み実現したところが大きかったといえます。多大なご支援をいただき、深く御礼申し上げます。

4. 地域連携

地域の精神科病院連携担当者様との繋がり強化を目的として、ニキハーティーホスピタル地域連携室と合同で東区の精神科病院の連携担当者（精神保健福祉士）との懇話会を開催しました。情報共有や忌憚のない意見交換ができて極めて有意義でした。

5. 本年の目標

昨年は多くの課題を抱える方々の支援に関わる機会が増え、相談支援のあり方について考え直さなければならない事態に数多く直面しました。来年度の目標として、「支援を必要とされる方々に沿ったケアマネジメントの実践」・「相談支援を希望される方への早期介入・支援」・「スタッフの資質向上」を柱として、業務全体の充実化を図ります。具体的には増員等による体制強化、研修等への積極的な参加と企画、事業所との信頼関係構築と連携強化に取り組むたいと思います。また、すでにDX化に取り組んでいますが、業務管理データベースを充実させ業務効率化を推進します。さらに、事業所の特色や取り組み、関係事業所との連携等についてより相談支援を必要とされる方々に情報をお届けするためSNSの活用を進めていきたいと思います。来年度トリプル改定を見据え、多様なニーズに対応できるよう事業運営を行う所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

TVドラマやアニメがある。丁度良い場面で番組が終わり、最後に「To be continue」又は「続く」と画面に表示される。続きを見たい欲求を抑え、来週の放送まで我慢する。やっと1週間が経過して同じ時間にそのチャンネルをつけた時に、頭で記憶が繋がり、前回の止まっていた物語が動き出す。この1週間に様々な出来事があったも、断片化された記憶は脳の中に貯蔵され、脳内でアップデートされ、一つの記憶の塊になる。丁度、昔のPCのハードディスクに一つのプログラムを数カ所の空いている場所に記録して、プログラムを使用する時に断片化したプログラムを読み込むようなものである。

新型コロナのパンデミックにより、それまで普通に行っていたことができなくなり、我々の生活様式は感染対策に合わせて変化した。新型コロナが2類から5類に落とされ、制限が緩和され、ソーシャルディスタンスの距離も近くなり、次第に元の生活に近づいて来た。短期間の行動制限であれば何もなかったように再開できるが、2020年2月のダイヤモンド・プリンセス号の件から4年近く経過した今、長期化した新型コロナ感染症の生活から単純に元の生活に戻すには困難さがある。

あるニュース報道があった。伝統的なお祭りが3年ぶりに開催されたが、坂道で山車が横転して死傷者が出た。祭りを再開したが、山車を動かした経験がある人は少なく、そのため、受け継がれていた手順が曖昧になっていたのが原因ではないかと報道は締めくく。例年の行事だから引き継いで開催できるが、3年というブランクは初めて行うのと同じだけの注意と労力が必要である。

一方で、新型コロナの制限で発展した部分もある。Webを利用して、遠隔で会議や研修会を行う技術が広まった。また、自宅にしながら仕事や学校の授業を受けたり、バーチャルな環境の中でのコミュニティを作ったり、遠隔での診療も発展した。入学からマスクをして生活し、授業をWebで受けて、学校では友人はできずコミュニティが希薄になった。昔の友人と遊んだり、バーチャルゲームの中で友人を作る人が増えた。規制が緩和され、マスクを外すようになるが、人に自分の顔を見せるのが今更恥ずかしいという人も多い。タブレットで自宅で授業を受けられたことは、対人コミュニケーションの問題や、家から出れない子どもの不登校対策になった側面もある。一方で、学校に行くという行動を奪うため、登校できていたのに登校困難になった子どもも存在する。

人は過去には留まらない。再開と言っても、ドラマを見るように、過去に立ち戻ることはできない。人は、環境に順応できるように工夫し、変化しながら進化発展する。一度薬を経験すると、そこに心は留まり、不自由になった自分を不幸だと感じてしまう。医療の分野では、政府からの新型コロナ対策は引き潮のごとく減ってしまい、国民の感染者の実数の報告もなくなり、感染の実態はブラックボックスである。また、新型コロナに対する高価な薬の自己負担も発生した。新型コロナは、変化しながら感染者は出続けるため、医療の分野では、パンデミックを起こさないように、今でも細心の注意の元、診療を行い戦い続けている。



理事長 仁木 啓介

熊本市フードドライブ 2023に参加



病院全体で取り組める活動として、熊本市主催のフードドライブ2023に参加しました。初めての試みで周知期間も短い中、多数の職員の協力によって、11.2kgの食品を提供することができました。今後も定期的な実施し、子ども食堂等へ提供するとともにフードドライブ活動の定着を目指します。



環境にやさしい



太陽光発電の設置や館内照明のLED化による省電力化、水道の蛇口に節水コマを取り付けるなどの節水、電子カルテ導入等のIT化によるペーパーレスの推進など実施しています。2021年の病院情報システム更新では、旧システムと比べ消費電力を約50%削減しました。

地域生活



当院に関わる地域を含む皆様、スタッフとともに一緒に安心安全な医療、生活を構築していくことを大切に業務にあたっています。患者様やご家族にとっては継続した治療や回復に繋がるよう個別の状況に合わせてケースマネジメントを行っています。地域や企業に対しては近隣精神科病院との懇話会、ストレスチェックのご依頼を受けるなど、メンタルヘルスの課題に取り組んでいます。

ユニバーサルスポーツ



性別・年齢・障害を問わず様々な方が一緒に参加できるユニバーサルスポーツを治療に取り入れています。誰もが楽しめる競技を通して他者と繋がりを作ることができます。令和5年10月11日に行われた熊本市・熊本市精神科病院協会共催スポーツ大会ではモルックとボッチャの体験会が行われ、当院からも数名の患者様が参加し実際に競技を行いました。参加した患者様からも「楽しかった」との声がありました。



食品ロスの削減 廃油リサイクル

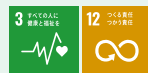


患者様に健康的な食事を召し上がっていただくために、季節に合わせた食事をはじめ、患者様個人に合わせた食事の提供を行っています。更に定期的に嗜好調査や残菜調査、提供メニュー・提供量の見直し等を行い、より良い食事の提供および食品ロスの削減に取り組んでいます。



残食は熊本市内の養豚場に飼料として提供させていただきました(2022年度約17t)。また、揚げ油などの廃油約65kg(2022年度)は専門回収業者に引き取っていただきリサイクルされています。

エコキャップ活動



平成21年5月から行っているペットボトルキャップの回収活動「エコキャップ活動」も15年目となり、累計回収個数は482,138個になりました。もし、この量のキャップを焼却処理した場合、約3.5トンのCO₂が発生することになりますが、この活動で集められたキャップはリサイクル原材料となり換金され、医療・障がい者支援等に役立てられています。



野菜づくりと グリーンカーテン



院内の空きスペースを有効活用し野菜を作っています。収穫した野菜は職員に配布したり子ども食堂へ提供したりしています。また、中庭等で育てている花木に与える栄養分も駐車場の落ち葉や厨房から出る厨芥類を使って作り出しています。リサイクル・リユースによる“緑”を管理する活動を積極的に行っています！



ふるさと元気子ども食堂の代表：宮津さん(写真右端)に野菜をお届けしました。

外来通院～入院～ 退院後の生活まで サポート



その人がその人らしく、安心して地域の中で生活することができるよう健康増進・症状の悪化予防に常時努めております。また、「外来～入院～退院後の生活(必要な社会資源の情報提供・利用導入)」までの援助を他職種と連携を図りながら推進しています。自宅での生活が困難な場合は、介護保険の認定等の諸手続きに加え、グループホームや施設入所に関しての情報提供等を行っています。

Challenge SDGs! SDGsへの取り組み

ニキハーティーホスピタルは
令和4年9月に熊本市の認定を受け、
精神科の病院として、地域に根ざす一企業として
SDGsに取り組んでいます。
もちろん個人個人の意識と行動が大事なのですが
組織としてより広範囲に活動し、
社会に貢献したいと努力しています。



カウンセリング メンタルヘルス研修



カウンセリングでは、仕事や家庭の悩みなど、ひとりで考えると行き詰まってしまうことも、私たちカウンセラーと一緒に振り返ったり考えたりすることで、心の糧を増やしていけるようにということを心がけています。また、外部機関でメンタルヘルス研修を行っています。リラクゼーション・散歩・睡眠・食事・CBT・SST・アンダーコントロールなど、いろんな面から自分自身をふりかえり、必要な知識とスキルを体験しながら、セルフケアができるようにサポートしています。

かんたんレシピ



ライスペーパーれんこん餃子

材料 (2人分)	れんこん …… 200g	ライスペーパー … 8枚分
	豚ひき肉 …… 120g	ポン酢 …… お好みで
	はんぺん …… 1袋(110g)	片栗粉 …… 大さじ1
	大葉 …… 10枚	料理酒 …… 大さじ1
	生姜 …… 一欠片(みじん切り)	黒コショウ …… 少々
	ごま油 …… 適量	塩 …… 少々

- 作り方**
- ①れんこんは、飾り用に8枚薄い輪切りにして、残り半分はすりおろしと角切りにする。大葉は千切りにし、生姜はみじん切りにする。
 - ②ボウルに材料・調味料をすべて入れ、よく混ぜる。
 - ③水で戻したライスペーパーの手前1/3の上に8等分したタネをのせる。途中で薄切りにしたれんこんを1枚のせ、春巻き型に巻く。
 - ④フライパンにごま油を中火で熱し、焼く。焼き色がついたら裏返して蓋をして弱火で3分ほど蒸し焼きにする。
 - ⑤器に盛りつけて、お好みでポン酢を添える。

POINT

れんこんは過剰なナトリウムを排出し、高血圧の予防や改善効果が期待できます。また、余分な水分を体外へ排出し、むくみの解消に効果があります。れんこんは不溶性・水溶性食物繊維の両方を含むため、便秘予防にも効果的であると考えられています。

こんなことがありました

4年ぶりの あそぼうキャンプに 参加して

コロナウイルス感染症の蔓延により開催が難しかったあそぼうキャンプが、4年ぶりに再開された。これまでのように、仁木理事長をはじめ、著明な専門スタッフがそのキャンプをサポートする万全の体制だった。これまで熊本地震や九州北部豪雨に被災した子どもたちを対象としていたが、今回は令和2年7月豪雨に被災した子どもたちが多く参加した。現在、日常生活の支障は生じていないようだったが、水や自然への恐怖は心の奥に残っていることは考えられた。しかし、阿蘇の豊かな大自然と仲間に囲まれ、多くの専門家に守られた状況で、子どもたちは水遊びのプログラムも安心して楽しんでいた。これまでの水との関係にこの楽しい経験が書きされたと思う。

各々がプログラムを選択するチャレンジバイチョイスでは、アクティビティを通してそれぞれ新しい体験をしていた。キャンプファイヤーでは明かりのない真っ暗な大自然の中、夜を照らす火や仲間との関係など新鮮なことばかりであっただろう。あっという間に終わった印象だったが、子どもたちの変化が感じられる3日間だった。初日は不安そうだった子どもが、解散時に「来年もまた来ます」と言った笑顔が印象的だった。

公認心理師／浅山 耕介



編集後記

昨年はあらゆる規制が緩和され、各地でイベントの再開、祭事など観光地も非常に賑わいをみせました。緩和に伴い、この数年と比較して多くの笑顔や歓喜の場面に触れることが増えたように感じています。令和も5年が経過。たった5年の中で生活も大きく変わりました。また今年もあらゆる変化に触れつつ次回の発刊にて、ご報告させていただきます。

できごと